

## 「平塚市総合計画市民ワークショップ」について

### 1 開催趣旨

「平塚市総合計画市民ワークショップ（以下、「市民ワークショップ」という。）」は、「（仮称）次期平塚市総合計画」を策定するにあたり、これまで市政に声を届ける機会の少なかった市民の方からも幅広く意見をいただき、市民の視点も踏まえたまちづくりを検討していく基礎資料を収集するために開催した。

### 2 市民応募

市民ワークショップについては、「平成 26 年度平塚市市民意識調査」にご協力いただいた市民の方（住民基本台帳から、3000 名を無作為抽出）を対象として、参加者を募り、19 名の市民の方から応募があった。

応募された市民の方については、性別は男性 9 名、女性 10 名、年代は 30 代 1 名、50 代 3 名、60 代 6 名、70 代 9 名であった。

### 3 実施概要

第 1 回市民ワークショップでは、参加した市民の皆様方に共通の認識を持っていたくことや第 2 回目以降の市民ワークショップを円滑に進めていくことを目的とし、全国の地方自治体が直面している現状や今後の自治体運営における課題などについて基調講演を行った。

また、平塚市における現総合計画による取組み、将来の人口推計や歳出などについても情報提供を行った。

第 2 回市民ワークショップでは、第 1 回市民ワークショップでの基調講演や情報提供を踏まえて、機械的に分けたグループ（4 班）において、「イキイキしたまちってどんなまち」、「平塚から無くしたくないもの」の 2 つのテーマについて、個人やグループワークを通して話し合いを行った。その後、各グループでの話し合いの結果について、順次発表を行い、参加者全体で意見を共有した。

第 3 回市民ワークショップでは、希望したテーマ（「子育て支援・高齢者福祉・市民活動」または「教育・文化」）に分かれ、そのテーマに関する施策を推進するための手段について、各自でランキング付けを行った。その後、各グループで話し合いを行い、グループ内のランキング付けを行った後、グループ内のランキング上位の手段（方策）について、実行可能な具体策を導き出すため、ロジックツリーを用いて話し合いを行った。

第 4 回市民ワークショップでは、第 2 回及び第 3 回市民ワークショップでの話し合い結果を踏まえて、将来、「子や孫へつないでいきたい平塚市の未来像」について、各自で言葉の表記や項目について整理を行った。その後、各グループで話し合いを行い、グループとしての意見を整理し、その結果について発表を行った。

さらに、グループ発表の内容を踏まえて、参加者全員で話し合いを行い、意見の整理や共有化を図り、全体としてのまとめを行った。

#### 4 市民ワークショップの全体プログラム

開催日時	場 所	実施内容
第1回市民ワークショップ 平成27年1月17日(土) 13時～15時	平塚市役所 本館3階 303会議室 304会議室	1. 基調講演 題名：「低成長・成熟化時代の新しい 総合計画のあり方」 講師：慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任教授 長瀬 光市氏 2. 情報提供 (1) 平塚市の総合計画は？ (2) 将来の平塚市の人口予測は？ (3) 平塚市の税金の使われ方は？ (4) 平成26年度平塚市市民意識調査 結果概要【速報】
第2回市民ワークショップ 平成27年1月24日(土) 13時～16時	平塚市役所 本館3階 303会議室 304 会議室	1. ワークショップ ・「イキイキしたまち」のイメージ共有 ・「平塚から無くしたくないもの」につ いて、グループワークを実施 ・興味あるテーマ別グループで意見交換
第3回市民ワークショップ 平成27年2月7日(土) 13時～16時	平塚市役所 本館3階 303会議室 304 会議室	1. ワークショップ ・希望したテーマに関し、推進するた めの施策について、各グループでランク 付けを実施。その後、ランク上位の施 策について、具体策のロジックツリー を作成しながら話し合いを実施
第4回市民ワークショップ 平成27年2月21日(土) 13時～16時	平塚市役所 本館3階 303会議室 304 会議室	1. ワークショップ ・これまでのワークショップを踏まえ、 将来、「子や孫へつないでいきたい平 塚市の未来像」について、各グループ で話し合い、意見整理を実施 ・グループ発表後、参加者全員で話し 合いを実施し、意見の整理や共有化を 図り、全体としてのまとめを行った

※第2回～第4回の市民ワークショップの企画及び運営については、RE Learning 代  
表の秦野玲子さんに依頼した。

## ■ 「子や孫へつないでいきたい平塚市の未来像」

### 1. 美しい景観や田園風景が守られている

- ・農漁業など地場産業を盛んにするために、地元の産物を市民や市外の人も買っている。
- ・景観を損なうような行為をしない、させない。
- ・花を植える活動、里山保全の活動などが盛ん。
- ・景観や環境を保全することと利便性のバランスがとれている。
- ・休耕地や遊休地を市民が活用している。
- ・地元の産物を学校給食に取り入れるしくみができている。

### 2. 文化を守り、文化を育て、文化を創る風土がある

- ・市民と行政が芸術文化の活動や機会を支え合って育てている。
- ・七夕まつり、歴史的な遺産などを教育で活用しながら、平塚ならではの文化の価値を多くの市民が共有し、市外に発信できている。
- ・市民と行政が連携して平塚の文化の良さを世界を意識して市内外に対して様々な手段で発信している。
- ・既存の施設やスペースを有効に利用し、文化や芸術活動が盛んにおこなわれている。
- ・市民が参加できるしくみがあるイベントの開催。
- ・地域の祭りを全市に知らせる手段がある。

### 3. 若い世代がたくさん住んでいる

- ・子育てについて学ぶ機会や、異年齢の交流が盛ん。
- ・若い世代が地域活動や政策決定の場に参画できるしくみがある。
- ・文化や情報に日常的に触れる機会が多くある。
- ・一時保育など、子育て世代を支えるしくみがある。
- ・安全で安心なまちであると、市内外に認識されている。
- ・安心して働くことのできる環境が整備されている。
- ・参加のしやすい情報提供ができている。
- ・子育て広場や支援センターに高齢者のボランティアがいる。

「私の好きなひらつか」を  
子や孫に  
つなごう！

### 4. 市民が健康で「する、見る、楽しむスポーツ文化」が根付いている

- ・市内のあちこちでスポーツをする姿が見られる。
- ・サッカー、ビーチバレーといった「平塚にあるスポーツの特色・魅力」を活かしたイベントがある。

### 5. 学習活動が盛んで多くの市民が参加している

- ・市民と行政がそれぞれの持ち味を生かして学習や交流機会をつくっている。
- ・公民館や市民文化会館、学校の余裕教室など、身近な場所での学習機会がたくさんある。
- ・やりたいと思ったことには市民が参加しやすい場づくりができている。
- ・食育など健康に関する学びの機会や活動の機会が学校や地域にたくさんあり、健康寿命が維持されている。
- ・学習機会が一括して広報できている。

### 6. 子どもや高齢者、障がいのある人等と相互に支え合う市民活動が行われている

- ・市民の小さなグループが公民館単位にいくつもあり、グループ間のネットワークがある。
- ・市民が笑顔で挨拶や、声の掛け合いをしている。
- ・多様な組織間、地区間での活動の交流や連携がうまくいっている。
- ・高齢者の知識や知恵が、若い人に受け継がれている。

### 7. 広報・広聴

知りたい全ての情報が発信されている

- ・コンシェルジュのような機能を持った情報発信・受信部門がある。
- ・ホームページが分かりやすい。
- ・若い人のアイデアを取り入れられるしくみがある。
- ・様々な媒体で情報発信がされている。
- ・活発な情報発信のしくみが構築され、維持されている。
- ・駅前で観光案内がされている。



# 子どもワークショップについて

## 1 開催概要

### (1) 開催趣旨

平塚市の将来を担う子どもたち（中学生）から、今後のまちづくりに対する意見や考え方を聞き、「(仮称)次期平塚市総合計画」の策定における参考資料とする。

また、限られた予算の中で、市として「やるべきこと」、「やらなくていいこと」、また市民として「やるべきこと」などについて、グループワークを通じて、その考え方について学ぶ。

### (2) 開催日時・場所

日時：平成 26 年 11 月 15 日（土）10 時～12 時

場所：平塚市青少年会館 集会室

### (3) 参加者

市内中学校に在籍する中学生 17 名（中学 1 年・14 名、中学 2 年・3 名）

### (4) ワークショップの実施内容

#### 【講義】

平塚市の人口の推移（今後の予測も含む）及び税金の使われ方について、資料（別紙 1、2）に基づき情報提供を行う。

#### 【個人ワーク】

「ワークシートその①（別紙 3）」及び「ワークシートその②（別紙 4）」をもとに、「あなたが市長さんだったらどうしますか？」という設定で、限られた予算の中で市民からのお願いに対する市の対応について考える。

1 回目は、「市民からのお願い」について、その要望内容だけから「実現させたいこと、実現させた方がいいと思うこと。」について判断する。

2 回目は、「市民からのお願い」に対して使える予算を踏まえて、それぞれのお願いを実現するための事業費、必要性や効果などを考慮し、「実現させたいこと、実現させた方がいいと思うこと。」について判断する。

#### 【グループワーク】

個人ワークでの判断結果について、それぞれのグループ内（3 グループ）で発表を行う。

その後、個人の発表内容をもとに、各グループ内で意見交換をしながら、市の対応について、各グループで検討を行う。

#### 【成果発表・意見の共有】

グループごとに、みんなで話し合った内容を発表し、参加者で意見や考え方の共有を図る。

## 2 実施結果

### (1) グループワークでの子どもたちの主な意見

- ・予算は、すべて使わなくても良い。将来世代のために、貯金をする。  
⇒今後、必要なことに対して備えておく。
- ・市民からの全ての要望は行わなくても良い。  
⇒何でもやるのではなく、市民のために考えてやる必要がある。  
同じような施設は、必要がない。
- ・余裕があれば、借金返済に充てて、将来の負担を少なくする。
- ・無駄なこと、不必要なことに予算は使わなくても良い。
- ・災害に対する備えは必要。
- ・すべてのことを市でやる必要はない。  
⇒地域でできることは地域の人たちで行うことが大事。(高齢者の見守りなど)

### (2) 検討結果

(○：実施したいもの △：実施を迷うもの ×：実施しなくてよいもの)

NO.	市民のお願い	検討結果			主な意見
		A班	B班	C班	
1	スポーツ施設をつくる	×	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総合体育館があるから、同じような施設は造らなくていい</li> <li>・異世代の交流の場にもなるため、あった方がいい</li> <li>・施設がなくてもウォーキングなどをすればいい</li> </ul>
2	赤ちゃんを育てる市民にオムツをあげる	×	×	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オムツはいらない(あげなくていい)と思う</li> <li>・母親が大変と聞くので少しでも足しになればいい</li> <li>・ミルクが高く、おむつだけもらっても意味がない</li> </ul>
3	保育所をつくる	○	△	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが少なくなるから、保育園は要らない</li> <li>・整備にお金がかかる。幼稚園と一緒にすればいい</li> <li>・地域で見ることができれば要らないのではないか</li> </ul>
4	川に新しい橋をつくる	×	×	△	<ul style="list-style-type: none"> <li>・移動手段を変更すればいい</li> <li>・早めに家を出ればいい。運動にもなる</li> </ul>
5	マンガを買って図書館で貸し出す	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンガは要らない</li> <li>・個人で買えばいい</li> <li>・リサイクルショップを利用すればいい</li> </ul>
6	観光CMを作っ てテレビで放送する	×	△	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・CMで観光客が来てもらって、何か買ってもらうことがいい</li> <li>・ゆるキャラを作る</li> <li>・たくさんの観光客が来ると、お店が儲かる</li> </ul>
7	老人ホームをつくる	○	△	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お金を残して、老人ホームを造る</li> <li>・高齢者が多くなっている所以需要</li> <li>・子どもが来れば、ふれあいの機会になっていい</li> </ul>
8	道路に照明を増やす	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昼間でも不審者は出るので、明るくした方がいい</li> <li>・まちが明るくなると、にぎわいにもつながる</li> <li>・安心が一番大事である</li> <li>・あれば安心だから欲しい</li> </ul>
9	避難場所での保管するための食料を買う	×	○	○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難場所の食料は必要</li> <li>・自分で買えばいい</li> </ul>

NO	市民のお願い	検討結果			主な意見
		A班	B班	C班	
10	市役所に展望レストランをつくる	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>市役所にレストランは要らない</li> <li>富士山は、他の場所でも見ることができる</li> </ul>
11	たくさんの人をやって、地域を見回る	×	×	×	<ul style="list-style-type: none"> <li>見守りは、警察にお願いする</li> <li>市でやらなくてもいい。地域でやればいい。</li> <li>見て回るのに労力が必要で、見切れなさそう</li> <li>地域ごとにやればいい</li> </ul>

## (2) 子どもワークショップに参加した感想（抜粋）

### 分かったこと・感じたこと

- 増税の話がニュースでやっていて、増税なんてしくて良いと思っていましたが、お年寄りの、みんなのためと思ったらよいのかな、と思いました。
- わざわざ税金を使わなくても、いろいろと工夫すればみんなが快適に暮らせるまちなることが分かった。
- 高齢者が増えていき、若い人が減っていくと、これからも連鎖してしまうと思いました。
- 予算の中でやれることは少ないということが分かりました。これから人口が減っていく中で、どんなことをしたら良いのか、どういう介護をしたら老人は喜んでくれるか、そういったことを考える必要のあることが感じられました。
- いつも払っている税金の使い道が分かった。市を良くするためにはたくさんのお金が必要だと分かった。

### グループワークで学んだことや発見したこと

- 時間がたつに連れて子供を産む人が減り、お年寄りが増えて働ける人も限られて苦しくなると思う。けれど、私は福祉関係の仕事に就いて、お年寄りとかかわっていきたいと思った。
- 税金を使ってやった方が良いと思っていたものでも、違う方法があれば税金を使ってやらなくて済むということ学んだ。ほかの方法があるのではないかと考えることは難しいけれど、考えなければ、どんどん税金を使ってしまうのだと思った。
- 一人一人の気持ち（願い）を大切にすること。でも、全部に税金を使うのではなく、別の方法でも願いをかなえることはできる。
- 決められた予算の使い方は、人の見方によって変わるものなのだと分かった。

### 平塚市をどのようなまちにしたいか

- 平和で健康なまちにしたい
- お年寄りも小さい子もみんなが元気で笑顔あふれるまちにしたいです。それぞれの地区でレクリエーション大会などもやっているの、いろいろな人に参加してもらえるようにしたいと思います。
- 自然が増えるまちにしたい。
- お年寄りがいつまでも元気でいられるまちにしたい。

- 笑顔が絶えず、みんなが楽しく快適に暮らせるまちをつくる。
- みんなが過ごしやすいまちにしたい。
- これから子どもがいっぱい増えて大人が楽に働けると良いと思いました。
- やさしさや思いやりなどを中心としてイルミネーションなどが多い平塚市にしたい。
- 子どもからお年寄りまで、楽しく生活できて障がいのないまちにしたい。
- とにかく平凡でも安心して安全なまちなら良いと思う。
- 市民のことを一番に優先する優しいまち。お年寄り、子どもやその親が過ごしやすい環境をつくり、潤ったまち。
- みんなが暮らしやすくて安全なまちにしたい。人口を増やすため、保育園や老人ホームを造るような、みんなのためのまちをつくりたい。
- 安心安全なまちにしたい。
- みんなで仲良く暮らせるようになりたい。
- 人と人とのふれあいを大切にした積極的なまちにしたい。
- 犯罪が少なく、まちが赤ちゃんから高齢者まで暮らしやすいまちにしたい。
- 健康で子どもが住みやすいまちにしたい。

以 上



# あなたが市長さんだったら どうしますか？

ある日のやりとり・・・

(市長) いろいろなところへ行って市民のみなさんと話をしているんだ。  
がんばっている人たちがたくさんいるんだけど、同時に市役所でしてもらいたい  
ことをお願いされるんだ。(お願いされたことは下の表)



市長



男性職員

(職員) いろいろな希望が出されていますね。

(市長) 市民のみなさんに喜んでもらいたいんだ。



市長



女性職員

(職員) 市民のみなさんにとって、安心して住めるような平塚にしたい  
ですよ。



男性職員

(職員) あなたが市長さんだったらどうしますか？  
市長として実現させたいこと、実現させた方が良くと思う  
お願いのNo.に、**直感で“○”をつけてみてください。**  
いくつ“○”をつけてもいいよ。  
もし、やらなくていいものがあったら、“×”をつけてね。

## 市民からのお願い

NO.	市民	お願いの内容
1	お年寄り	いつまでも健康でいたい。仲の良い人といっしょに行けるスポーツ施設を近くにつくって欲しい。
2	2人の子を持つお母さん	もうひとり子どもが欲しいけれど、お金がかかって大変。おむつを無料でくれるとうれしいわ。
3	赤ちゃんがいるお母さん	小さい子どもがいると働きにくい。家の近くに保育所があると助かります！
4	仕事をしているお父さん	朝、橋のところで渋滞して時間がかかる。新しい橋を増やして欲しい！
5	小学生の男の子	マンガが好きなんですけど、買うためのおこづかいが足りないんだ。図書館にマンガがたくさんあればみんなで読めるし、良いと思う。
6	レストランの経営者	平塚市の観光スポットや景色のきれいな所を紹介するCMをつくって、テレビで放送すれば、たくさんの人が平塚にきてくれてまちがにぎわうと思う。
7	一人で暮らすお年寄り	歳をとってきたので一人で生活するのが心配。安心して生活ができる老人ホームをつくって！
8	帰宅する時間が遅い女性	夜の帰り道が暗くて怖い。道路に明るい照明を増やして欲しい！
9	災害が起きた時の食料のことを心配している人	大きな地震が起きて体育館に避難した時、地域の人たちが食べるための食料を十分に用意しておいて欲しい。
10	市役所に来た人	市役所の最上階にレストランがあれば、富士山を見ながら食事ができる。平塚でとれる野菜を使えば農家の人も喜ぶと思う。
11	中学生の女の子	子どもたちに声をかける怪しい人が出て、親が心配している。だれかに見回りして欲しいな。

※この資料は子どもワークショップのためのオリジナルなものです



女性職員

(職員) 市長、全てのお願いを実現することができれば良いかもしれませんが、この他にも、学校の校舎や道路を直すこと、福祉のことなど、ふだんからしなければいけないこともあります。



男性職員

(職員) 来年度の収入のうち、自由に使えるお金は、8億円です。

(市長) 困ったなあ。  
願いをできるだけ多く実現させる方法はないのかなあ。



市長



女性職員

(職員) 税金として、みなさんからもう少し多くお金をいただく方法もありますが、生活が苦しくなるので困るという話も聞きます。他には、お金を借りてきて増やす方法もありますが、今の子どもたちが大人になった時、せっかくの税金の多くを、過去に借りたお金を返すことに使うようになってしまう。

(市長) そうだね。よく考えてみたいから、願いを実現するために必要なお金や、願いを実現することで、まちやみんなのくらしがどう良くなるかを資料にまとめて。

～後日～



男性職員

(職員) 市長、資料にまとめました。

(市長) なるほど。  
ところで将来大人になる、今の子どもたちはどう考えているのかなあ。使うお金や効果のことも考えて、実現させたいお願いの番号に“○”をつけてね。  
もし、迷ったものがあったら“△”を、もう一度考えてもやらなくても良いものには“×”をつけてね。



市長

判断するための資料

NO.	市民	効果 (ひとやまちがどう良くなるのかな?) あなたはどのように思いますか?	必要なお金
1	スポーツ施設をつくる	元気なお年寄りが増える。人と人との交流が広がる。	2 億円
2	赤ちゃんを育てる市民にオムツをあげる	オムツを買う分のお金を節約できるので、もう一人子どもを産んでもいいかなと思う市民が増える。	1 億円
3	保育所をつくる	子どもがいても働けるようになり、生活が安定したり、やりたいことが実現できるようになる。	3 億円
4	川に新しい橋をつくる	働く場所へ早く着くようになり、朝の時間にゆとりが生まれる。	4 億円
5	マンガを買って図書館で貸し出す	おこづかいで買わなくても、たくさんのマンガを読むことができる。	1 億円
6	観光CMを作ってテレビで放送する	平塚市に多くの人々が来るようになり、お店でたくさん買い物をしてくれるようになる。	1 億円
7	老人ホームをつくる	希望するひとが老人ホームに入れるようになり、家族の負担も軽くなる。	3 億円
8	道路に照明を増やす	夜の道が明るくなり、帰りの不安がなくなる。	2 億円
9	避難場所で保管するための食料を買う	地震が起きても食べ物のことを心配しなくてもすむ。	1 億円
10	市役所に展望レストランをつくる	平塚市内に好きな場所が1つ増える。	2 億円
11	たくさんの人をやって、地域を見回る	親が安心して学校に通わせることができる。	2 億円
あなたが○をつけたものを実現するために必要なお金の合計は? →			億円

※この資料は子どもワークショップのためのオリジナルなものです